

1月28日 (土)

真に価値あるもの

聖書朗読 ヨハネ 12:1~11

あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。 マタイ 6:21

セオドア・ルーズベルト大統領は、米国にあるたくさんの美しい場所の価値を知っていました。彼は、そうした場所を開発せずに保護しました。こうして、アメリカ合衆国国立公園局 (NPS) が誕生したのです。ルーズベルトがその土地の美しさを認めたからこそ、私たちは自然がもたらす宝物を満喫できるのです (NPS によると、2015年の国立公園の訪問者は3億500万人とのことです)。

イエス様の弟子であるユダは、真に価値ある御方と3年間も一緒にいながら、そのことを理解できませんでした。なぜでしょうか？ 彼は他のものにこそ価値があると思っていたのです。ユダの価値観では、愛と謙遜に溢れたマリヤの行いはお金の浪費にしか見えなかったのです。彼はお金こそ価値があるものだと思っていたのでイエス様の価値は見えなかったのです。

イエス様よりもお金を大切にユダはどのようになったのでしょうか？ 彼はイエス様を銀貨30枚で裏切りました。そして、ユダは自らが信じていた価値がどのようなものであったかを知った時、そのお金を投げ捨てて、自らの命を絶ちました。悲劇でした。

私たちが真に価値あるものと信じるものは何でしょうか？ 私たちが自らの時間を大切にすれば、真に価値があるもの、依り頼むべきものがわかるでしょう。もし、イエス様が第一ではないのであれば、そうなるように祈り求めましょう。『だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものは全て与えられます。』(マタイ6:33)。

讃美歌 365

祈り 愛する聖なる神様。イエス様という最高の贈りものを私たちに与えてくださいますことに感謝申し上げます。イエス様こそ、私たちが依り頼む真に価値ある御方です。私たちがこの世の空しきものに心奪われる時、どうか私たちをお赦しください。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ジーナ・D・ゴードン

サウス・カロライナ州 ミュレルズ・インレット

1月29日 (日)

法

聖書朗読 ヨハネ 15:26~16:4

ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中からです。 マタイ 18:20

私は英国下院議会の審理を見て驚いたことがあります。女性議員が立ちあがって話し始めると、「座れ！」といった、いろいろなヤジが飛び交いました。彼女は、手をかざして、ヤジを黙らせて、「もめごとを起こしたわけでもないのに」と言って、笑いを取っていました。

英国では、一般的に、弁護士を相談相手と考えます。しかし、御霊こそが私たちの相談相手であるのです。その御方は、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせ (ヨハネ16:8)、キリストを信じる人々の神様にある交わりを確かなものとし (ガラテヤ4:5)、私たちの祈りのためにとりなしてください (ローマ8:26)。旧約聖書の律法にあっては、ふたりまたは三人の証言によって真実が立証されました (申命記19:15)。神様は、イエス様の人生について聖書を通して、4つの福音を与えてくださっています。使徒の働きは、使徒パウロの3回に渡る宣教の旅の試練を詳細に綴った史書です。神様は、法を完全なものとしてくださり、神様の子どもたちのために惜しみなく与えてくださいます。へブル人への手紙の著者は、神様の法理を思い起こし、御子を覚えるように勧めています (へブル10:28)。御子イエス様を通して、私たちは、さばきにあつて慈悲を求めることができます。

讃美歌 313

祈り 愛する神様。この地上を治めるために御霊をつかしてくださいますこと、私たちの人生のためにあなた様のご意志を記された聖書を与えてくださいますことに感謝申し上げます。どうか、御言葉が今日の私たちの心の平安となり、私たちの行いの導きとなりますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

バリー・ポイナー

ミズーリ州 カークスバイル